

修了評価の方法

評価基準作成者：安井妃世

| | |
|------------|--|
| 評価方法及び合格基準 | <ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">・ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。・ テキスト1分冊から4分冊の間で出題する。2 出題形式 四肢択一形式とする。3 出題数<ul style="list-style-type: none">・ 択一問題32問(配点100点) 全問正解：100点満点4 合否判定基準 60点以上5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">・ 結果発表後、直ちに3時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。・ 再試験を最大3回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には、未修了扱いとする。・ 不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行う。 |
|------------|--|